



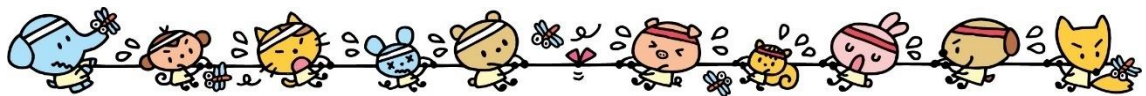
にじいろだより

2021年10月1日発行

香川県指定

子ども発達支援センターこがく

気温も湿度も落ち着き、過ごしやすい季節になりました。
一方で、インフルエンザを始めとする感染症には、特に気を付けなければ
いけない季節でもあります。新型コロナウイルス対策と合わせて、引き続き
子どもたちの健康管理・安全対策に取り組んでまいりたいと思います。



～体験を通して学ぶ～



8月のサンドイッチあそび



「これは何でしょう？」



きゃべつ

はっぱ

みどり

れたす

「見たことはある」「聞いたことはある」
「知らなかった」

子ども達が、興味をもっている身近なものは、
絵カードや絵本だけでなく、実物を「見て」
「触って」体験しながら、名称などの言葉
の理解につなげています。

秋のおいしい食べ物で、ことばあそび



どんぐり？



くり？



～文字を通して学ぶ～

言葉の発達において最初は「聴覚」を利用することが多いのですが、伸ばす音や詰まる音は、文字で示した方がわかりやすい子どももいます。

少しずつ文字が読めるようになった子どもには、文字を見て自分で間違いに気づき、「わかった！」という気持ちが味わえるようにしています。



人気の NEW 玩具

「ハンバーガー屋さん」シリーズが仲間入りしました。

実はこのセット全て、100円ショップで揃います！
ままごと遊び、やりとり遊びだけでなく、
数遊びや組み立て（構成）遊びなど使い方は
広がりそうです。



編集後記

とある回転寿司屋さんで、「半シャリ」という、“シャリが半分、ネタと値段はそのまま”という売り方が始まり、実際に流れている物を見て「小さい！！」と驚きました。私自身、年々食べる枚数は減り、数枚で満足できることは家計にはありがたいのですが、ネタを色々食べたい時には、半シャリが理想的なのかもしれません。でも、「ごはんを残すのはちょっと」より「値段そのままなのに半分か」というもったいない精神が勝ってしまい半シャリ未経験です。



児童発達支援管理責任者 村井美恵

